

# 緩和ケア科 研修プログラム

## 1 研修先

緩和ケア科

## 2 指導体制

各科・診療部門における指導体制は、別表「指導医及び指導医一覧」を参照

## 3 診療科基本スケジュール

(1) 研修期間 自由選択研修 4週間 ※自由選択が1回目の研修は当該期間を短縮することはできない(延長は可)が、2回目以降の研修は短縮することができる。

### (2) 配置予定

	自由選択研修
病棟	指導医のもとで受持医
外来	見学に従事

### (3) 週間予定表

	午前	午後
月	外来、病棟業務	緩和ケアチーム
火	外来、病棟業務、主任部長回診	緩和ケアチームカンファレンス
水	外来、病棟業務、カンサーボード	多職種合同カンファレンス、デスクカンファ
木	外来、病棟業務	緩和ケアチーム、ボランティア活動参加
金	外来、病棟業務	緩和ケアチーム、退院支援カンファ、まとめ

## 4 研修目標

緩和ケアを提供できるように必要な基本的知識、技術、態度を習得する。

## 5 経験すべき症候・疾病・病態（赤字下線付きは必須項目）

経験すべき症候(※1)	体重減少・るい瘦、腰・背部痛、 <u>終末期の症候</u>
経験すべき疾病・病態(※2)	肺癌、胃癌、大腸癌

※1 外来又は病棟において、上記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応を行う。

※2 外来又は病棟において、上記の疾病・病態を有する患者の診療にあたる。

## 6 経験すべき手技

注射法（皮下・点滴・静脈確保）

## 7 実際の業務

・緩和ケア病棟において指導医のもとに、全入院患者を対象として研修を行う。さらに、患者1名は研修期間を通じて担当し、各週の最終日にプレゼンテーションを行う。

・カンファレンスに参加する。

・緩和ケアチームの活動に参加する。

## 8 指導内容

・個々の症例に対するアセスメント、マネジメントの相談、指導

・症例プレゼンテーション、診療録に関するフィードバック

## 9 方略・評価

・基本スケジュールに沿って研修を行う。

- ・研修を終えるにあたり、感想文を提出する。
- ・担当した症例を指導医にプレゼンテーションし、指導を受ける。